

Fukujuso

DECEMBER 2025 12

Vol. 48

ご自由にお持ち帰りください

蠟燭の灯りに包まれて
よばなし

夜咄の茶事

- ・お正月におすすめのお茶
- ・緑茶で免疫力アップ！
- ・ほうじ茶しゃぶしゃぶ





お茶の時間 ■ Tea Time of the Month

ろうそくろうそくの灯りに包まれて一夜咄よばなしの茶事

京の町にも、ゆるやかに年の瀬の気配が満ちてきました。なにかとあわたしくなりがちな時期だからこそ、お茶をゆると楽しみながら、一年を振り返ってみてはいかがでしょうか。

茶道の世界では、11月になると茶室の畳に埋め込まれた「炉」に火を入れる「炉開き」と、その年の新茶を収めた茶壺の封を切る「口切り」が行われます。

秋から冬へと移ろうこの季節に始まるのが、灯を落とした茶室で蠟燭の明かりに心を寄せる「夜咄」の茶事です。静けさの中に茶を点てる音が響き、冬の闇にぬくもりが灯るひととき。立春までの夜長を楽しむ幻想的な冬のお茶会です。

一般的に茶会は正午頃にお客様をお招きします。一方、夜咄は日が落ちてから。和蠟燭や行灯あんどんの明かりのもとで行われます。茶室には、暗い中でも読める大きな文字でしたためられた掛け軸が選ばれるのだとか。床の間には花の代わりに石菖せきしょうが飾られ、蠟燭の油煙の広がる室内の空気を浄化します。石菖の香りが広がる炉辺に集い、薄茶や懷石、濃茶などを楽しみながら、仲間同士でゆったりと言葉を交わし、くつろいだ雰囲気を楽しみます。夜咄は茶事のうちでも最も難しく最上のものとされ、千利休の孫、元伯宗旦は「茶の湯は夜咄にてあがり申す」と教えていたと伝えられます。



福寿園京都館(京都本店)4階「京の茶庵」では、夜咄の茶事になぞらえた「夜の茶会」が楽しめます。茶室を照らすのは、和蠟燭の灯のみ…。静謐な趣に包まれながらいただく一服は、まさに至高の味わいです。1日1組様限定の特別な体験をお楽しみください。



◀福寿園京都館(京都本店)4階
「京の茶庵」

新しい年の始まりに、心あたたまる一服を

新年を気持ちよく迎えるご準備はお済みでしょうか。福寿園では、年の初めにふさわしいお茶や抹茶を取りそろえました。日頃の感謝や幸せを願う気持ちを一服の茶に込めて…大切な方への贈り物としてもおすすめです。健やかな一年を願い、あたたかなひとときをお過ごしください。



◀福寿園オンラインショップ



干支煎茶「午(うま)」

春に芽吹いた一番茶のみを使用し、まろやかな旨味と爽やかな渋味が調和した上品な味わい。「午」は杵を表す文字で、新年を勢いよく踏み出す力を象徴します。強い生命力の縁起を込めた干支煎茶で、健やかな一年をお迎えください。

■50g袋入
(税込)2,160円



大福茶

京都の故事にちなみ、元旦に福梅と福昆布を添えて無病息災を祈念するお茶です。福寿園の大福茶は、やわらかな甘味の「かりがね」(茎茶)を使用した、縁起の良いお祝いのお茶です。

■かりがね 3g×10袋、
福梅・福昆布
各5ヶ×2袋 袋入
(税込)1,080円



かりがね銘茶 福柱

茶園に覆いをして丁寧に育てた玉露の茎(かりがね)を柱に見立てた逸品。渋味が少なくまろやかな旨味と清々しい香りが特長です。パッケージには、繁栄と長寿を願う年輪をモチーフにした意匠を配しています。

■40g袋入
(税込)1,296円



令和八年 御題抹茶「明(めい)」

鎌倉時代から続くと伝わる新春恒例の「歌会始め」。令和八年の御題「明」に因んだ抹茶です。初釜やお祝いの席にぜひどうぞ。

■20g缶入
(税込)1,620円



金箔入り抹茶「錦彩(きんさい)」

代々伝わる技で丹精込めて挽き上げた宇治抹茶に華やかな金箔をブレンドしました。新春のお慶びにふさわしい、優雅な味わいをお楽しみください。

■15g缶入
(税込)2,160円



金箔入り抹茶スティック

きらめく金箔を散らした緑鮮やかな抹茶を、1杯分ずつのスティックに収めました。家族が揃うお正月のお祝いの席などでも、手軽なご準備で本格的なお抹茶の味わいをお楽しみいただけます。

■1.5g×5袋入
(税込)2,160円



グループ展「五感をひらく 茶のかたち」が開催中

茶の文化を軸に展開する「アールスペース福寿園」では、第6回目の企画展として、「五感をひらく 茶のかたち」を開催中です。第1回展でこけら落としを務めた戸田沙也加氏と、彼女の呼びかけで集まった3名の作家、計4名の作家によるグループ展となっています。本展は、視覚にとどまらず、素材の肌理(きめ)や温度、香り、空間の情景や音など、多様な感覚を刺激することでしょう。木・石・陶器・ガラス・樹脂といった異素材の対話から生まれる表現が記憶や感情を呼び覚まし、皆さまそれぞれの心にある“茶のかたち”を浮かび上がらせます。伝統と現代表現の交わりが生む、新たな感性の広がりをご体感ください。

期 間:2026年2月8日(日)まで

営業日:木曜～日曜 11:00～17:30(月・火・水曜、元日は定休)



■アールスペース福寿園
京都市下京区四条通富小路角
福寿園京都館(京都本店)7階



戸田沙也加「Bloom in Hand」

企画展鑑賞とVIPルームでのアート茶話会 ーアフタヌーンティー&ドリンクと共にー

企画展の開催期間限定で、メゾン・ド・マツダ福寿園では「アートとお茶をたべる体験」を開催しています。アート専属解説員による作品鑑賞の後は、通常非公開の京都本店VIPルームにて、お茶を食べるアフタヌーンティーをご体験いただけます。

ガラスの重箱に盛り付けたオードブルやデザートに合わせ、企画展をイメージした茶のモクテルや、点てたてのお抹茶をお客様の目の前で用意いたします。庭の小さな茶園を眺めながら、お茶文化の奥深い魅力に触れる特別なひとときをお楽しみください。

※ご予約は「Otonami」からのみ承っております。

価 格:(税込)8,800円

開催日:木曜～日曜 15:00～16:30(要予約)



◀アート茶話会のご予約はこちらから



※写真はイメージです。メニューはアート企画展の内容により変わります。

六波羅蜜寺、冬の祈りに寄り添う「玉露かりがね」奉納

一年の結びを迎える十二月、東山・六波羅蜜寺では古より続く法要が静かに営まれます。

福寿園はこの時期、感謝と祈りの心を込めて「玉露かりがね」を奉納しています。

奉納した「玉露かりがね」は、12月13日から大晦日までの間、観音様に無病息災を祈願し、正月吉例行事「皇服茶授与」にてふるまわれます。玉露の茎を丹念に選び、やさしく火入れしたかりがねは、澄んだ冬の空気にふわりと香り立ち、境内に温もりを添えます。

茶を捧げる行いは、自然への感謝、人々の安寧を願うこころの象徴。寒風のなかに立ちのぼる湯気は、古都の年の瀬に息づく“お茶の祈り”そのものです。



■ 六波羅蜜寺 京都市東山区口口町81-1
京都市バス 京都駅 206 系統、清水道下車、徒歩7分
京阪電車 清水五条駅下車、徒歩7分

お茶のレシピ ■ Tea recipe introduction

ほうじ茶しゃぶしゃぶ

12月に入り、寒さが一段と増してきました。そんな日には、体の芯から温まる鍋料理が恋しくなります。今回ご紹介する「ほうじ茶しゃぶしゃぶ」は、ほうじ茶の香り成分やほうじ茶に含まれるカテキンの抗菌作用で肉や魚の生臭みがやわらぎ、素材の旨味をいっそう引き立てます。香ばしいほうじ茶の香りに包まれながら、冬の食卓をお楽しみください。

【材料】

- ・ほうじ茶 25g~30g(お好みの濃さで)
- ・水 鍋の大きさに合わせて調整してください
- ・塩 小さじ2
- ・だし昆布 10g
- ・豚肉、鰯などの肉・魚
- ・お好みの野菜(ネギ・春菊・白菜・えのき等)
- ・お好みのタレ



【作り方】

- ①水を入れた鍋に昆布を入れ、30分程度置きます。
- ②お茶パックに入れたほうじ茶を①に入れ、鍋を弱火にかけます。沸騰直前で昆布を取り出し、沸騰して1~2分経ったらお茶パックも取り出します。
- ③お好みの野菜と塩を加えて煮込みます。
- ④沸騰したら肉・魚を入れ、しゃぶしゃぶします。

緑茶で免疫力アップ! 感染症予防にも期待

季節の変わり目は体調を崩しやすく、感染症も気になります。健康を守るには「免疫力」が重要ですが、毎日の緑茶飲用習慣がその力を高めてくれることをご存じでしょうか。

緑茶に含まれる「カテキン」には抗酸化・抗菌・抗ウイルス作用があり、なかでも「エピガロカテキン(EGC)」は呼吸器や消化器の粘膜免疫を活性化し、病原体の侵入を防ぎます。EGCは水出し緑茶に多く、カフェインも控えめでやさしい味わいが魅力です。

また、「エピガロカテキンガレート(EGCG)」はウィルスの働きを抑えるとされ、風邪やインフルエンザなどの予防にも期待されています。

寒さのなかで体調が気になる季節、緑茶で手軽に免疫力を高め、感染症への備えを強化しましょう。



■おすすめの飲み方

免疫力アップを狙うなら、EGCが豊富に含まれる「水出し緑茶」(4~20℃で1時間抽出)

風邪予防や抗酸化ケアには、EGCGが豊富に含まれる「熱湯でゆっくり抽出」(70℃以上で2分以上抽出)

大阪・関西万博 ■ EXPO2025 Event Report

10/6mon~10/13mon ■

大阪・関西万博にてメタバース茶会を出展いたしました

会期終盤の来場者は連日20万人を超え、大盛況のうちに閉幕した大阪・関西万博。テーマ「いのち輝く関西 悠久の歴史と現在」のもと、「関西パビリオン」京都ブースに福寿園学研館(CHA遊学パーク)が出展し、当社ブースにも多くの方々にお越しいただきました。

当社は、アバターを使って茶会を楽しめる「メタバース茶会」の体験会を実施。世代を問わず幅広い方々にご参加いただき、特にファミリー層から大きな反響がありました。

本企画を通じて、福寿園学研館の魅力を広く発信することができました。今後もテクノロジーを融合させた新しい茶会のかたちを探求していきます。



Instagram

福寿園学研館(CHA遊学パーク)公式

福寿園の12月の出店・催事情報

【Metro Opus】12月11日~12月17日 Metro Opus 心斎橋店(Osaka Metroの直営ポップアップ型店舗)

2025年12月号 Vol.48
令和7年12月1日発行

株式会社 **福寿園**

〒619-0295 京都府木津川市山城町上粕東作り道11
URL : www.fukujuso.com

※Fukujusoとは、福寿園グループのPR情報を掲載した広報誌です。本リーフレット掲載の記事、写真等の無断掲載、複製、転載を禁じます。写真はイメージです。



公式サイト